

日本IDDMネットワークサイエンスフォーラム

— 根治に向けてのカウントダウン —

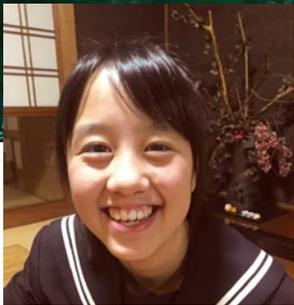
1型
糖尿病

2025年

2019
6.1 SAT

開場10:00 10:30▶16:45

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室



0歳で発症のゆうこさんは、毎日5回、生涯15万回の注射を打ちます。12歳のゆうこさんは、これまで2万回以上も注射を打っています。この子の手には“注射”ではなく“希望”を握らせたい。



阪神タイガース 岩田 稔 投手 (17歳発症)



元エアロビック競技日本代表 大村 詠一 氏 (8歳発症)

私たち、僕たちと挑戦しましょう

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室 東京都渋谷区代々木神園町3-1

交通案内 <https://nyc.niye.go.jp/train/>

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分 [代々木公園方面出口]
- 京王バス 新宿駅西口 (16番)より 代々木5丁目下車 渋谷駅西口 (14番)より



- 参加費
- 会員 (患者・家族) 3,000円
 - 会員 (患者・家族以外) 5,000円
 - 非会員 (患者・家族) 6,000円
 - 非会員 (患者・家族以外) 10,000円
- 当日お支払いください。
● 中学生以下及び、市町村民税非課税世帯の方は無料。
● 昼食は、各自でご用意ください。(会場内に食堂があります)

お問い合わせ・お申し込み先

「治らない」から「治る」へ
認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク TEL0952-20-2062 FAX020-4664-1804
〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町 4-13 info@japan-iddm.net <https://japan-iddm.net/>

日本IDDMネットワークのホームページにてお申し込みください。

もしくは、裏面参加申込書にご記入の上、

FAXまたは郵送にてお申し込みください。

https://japan-iddm.net/sympo_2019/

主催 ■ 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク 後援 ■ 文部科学省、厚生労働省



「治らない」から「治る」へ in 東京

1型糖尿病を「治る」病気に変えようとしている皆さんとともに、2025年の根治を目指して「参加」しませんか！
どなたでもご参加いただけます。

10:30	開会挨拶 井上 龍夫(日本IDDMネットワーク理事長)
10:40	来賓挨拶
10:50	<p>「膵島移植&バイオ人工膵島移植プロジェクトの現状と今後」</p> <ul style="list-style-type: none"> 膵島移植の現状と今後 小玉 正太(福岡大学基盤研究機関 再生医学研究所 所長) バイオ人工膵島移植の現状と今後 <ul style="list-style-type: none"> ①細胞加工施設(CPC)の建設とバイオ人工膵島の今後 霜田 雅之(国立国際医療研究センター研究所 膵島移植プロジェクト プロジェクト長) ②無菌ブタ作成の現状と今後 長嶋 比呂志(明治大学農学部生命科学科発生工学生物学研究室 教授) ③ウイルス感染検査技術の現状と今後
12:00	井上 亮(京都市立大学大学院生命環境科学研究科動物機能学研究室 講師)
12:00~13:30	昼食休憩 1型糖尿病に関する医療機器等の展示
13:30	第2回 山田和彦賞 授賞式および記念講演
14:00	感謝状贈呈式
14:15	サイエンスカフェのプロローグ(サイエンスカフェの各研究テーマ紹介)
14:40~15:10	休憩 1型糖尿病に関する医療機器等の展示
15:10	サイエンスカフェ — 私の1型糖尿病“根治”への取り組み — (研究者との自由な意見交換・交流)
	<p>テーマ① 「バイオ人工膵島移植の実現」 霜田 雅之(国立国際医療研究センター研究所 膵島移植プロジェクト プロジェクト長) 小玉 正太(福岡大学基盤研究機関 再生医学研究所 所長) 長嶋 比呂志(明治大学農学部生命科学科発生工学生物学研究室 教授) 井上 亮(京都市立大学大学院生命環境科学研究科動物機能学研究室 講師)</p> <p>テーマ② 「糖尿病原因ウイルスに対するワクチン開発」 永淵 正法(佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科 特任教授)</p> <p>テーマ③ 「試験管の中でどんな細胞でも、インスリンも作れるかもしれない技術の開発」 松本 征仁(順天堂大学大学院医学研究科先進糖尿病治療学講座 客員准教授)</p> <p>テーマ④ 「自己免疫によるインスリン分泌の低下を止めることはできるのか？」 中條 大輔(国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科 医長)</p> <p>テーマ⑤ 「ゲノム編集技術を用いた自然発症1型糖尿病モデルブタの開発」 谷原 史倫(徳島大学生物資源産業学部 特任助教)</p> <p>テーマ⑥ 「胎盤から採取される幹細胞を用いて1型糖尿病根治を目指す」 戸子台 和哲(東北大学消化器外科学 助教)</p> <p>テーマ⑦ 「自然免疫系を標的とした1型糖尿病の治療法の開発」 福井 竜太郎(東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野 助教)</p> <p>テーマ⑧ 「針を刺す必要がない血糖値センサーの開発」 山川 考一(ライトタッチテクノロジー株式会社 代表取締役 社長・量子科学技術研究開発機構レーザー医療応用研究グループリーダー)</p>
16:30	第13回 1型糖尿病研究基金研究助成課題の発表
16:40	閉会挨拶 大村 詠一(日本IDDMネットワーク専務理事)

1型
糖尿病

2025年

「治らない」から「治る」へ in 東京

日本IDDMネットワークサイエンスフォーラム

根治に向けてのカウントダウン

定員250名

(先着順)

6.1

SAT

開場10:00

託児あり

日本IDDMネットワーク サイエンスフォーラム参加申込書

2019年6月1日

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室

ふりがな	氏名		住所	〒	東京都府
*ご家族単位でお申し込みされる場合は、代表者氏名と総参加人数をご記入ください。		名 (うち中学生以下	名)		
該当する□に✓を付けてください	日本IDDMネットワーク		TEL	自宅・携帯・職場	
	<input type="checkbox"/> 会員 (<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 賛助 <input type="checkbox"/> 患者会 [所属会名])		FAX	自宅・職場	
	<input type="checkbox"/> 非会員 (<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 企業・団体等 [所属名])		E-mail	本人・職場	
	<input type="checkbox"/> 1型DM患者 <input type="checkbox"/> 1型DM患者の家族 <input type="checkbox"/> 2型DM患者 <input type="checkbox"/> 2型DM患者の家族 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 医療従事者(医師・看護師・栄養士・その他[])		(歳)	*長文のご案内メールをお送りする場合がありますので携帯メールの場合にはご了承ください。	
<input type="checkbox"/> 託児サービスを利用する(無料)			当日ボランティアスタッフ募集 ご協力いただける方は○を付けてください 参加		
<input type="checkbox"/> 市町村民税非課税世帯					

※お願い：当方からご連絡する際に、E-mail又はFAXを使用しますので**鮮明**にお書きください。※手話通訳や車いす席等が必要な方は事前にご連絡ください。
 ※託児は保育士ではなくボランティアスタッフによるものですのでご了承のうえでお申込みください。※ボランティアスタッフとしてご参加、ご協力をいただける方には、後日事務局より活動内容をお知らせいたします。※お預かりした個人情報は、当法人からのご連絡にのみ使用し、ご本人の承諾なしに第三者へ提供することはありません。